

平取町情報化推進計画

平 取 町

年 月	改 訂 理 由 ・ 内 容
令和 7年 9月	当初制定

目次

第1章 計画の策定にあたって	1
1-1 計画策定の趣旨	2
1-2 計画の位置づけと目標	4
1-3 計画の期間	4
第2章 取り組み方針と DX 施策	5
2-1 取り組み方針	6
2-2 施策の実施	7
2-3 参考資料	8
用語解説	16

本文中の用語(*印)は用語解説にて説明しています。

第1章 計画の策定にあたって

1—1 計画策定の趣旨

当町では、情報化の進むべき方向性を明らかにするため、令和7年度より新たに「平取町情報化推進計画」を策定し、これを今後の情報化施策の基本方針とします。

これまで当町においては、情報化に関する個別の取組は行われてきたものの、体系的かつ総合的な情報化推進計画は策定されておりました。今後、急速に進展する情報通信技術(ICT*)や社会環境の変化に的確に対応し、町民サービスの向上と持続可能な地域社会の実現を図るためには、戦略的な情報化施策の展開が不可欠です。

また、近年、デジタル技術の急速な進展により、社会の在り方や行政サービスの提供方法が大きく変化しています。スマートフォンや IoT 機器*の普及、AI*の活用、クラウド*環境の整備などにより、住民の生活はますますデジタル化され、行政にも迅速かつ柔軟な対応が求められる時代となっています。

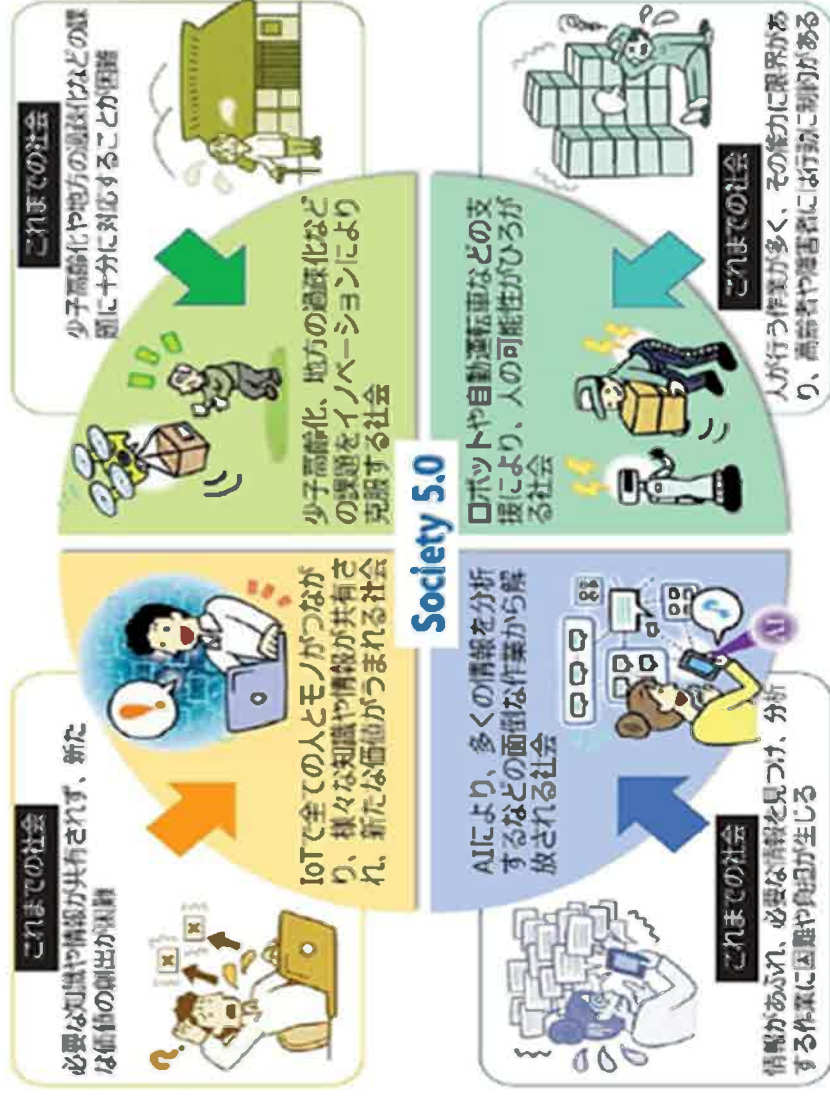
国においても、情報社会に続く新たな社会を目指すために内閣府より「我が国が目指すべき未来社会の姿」として、第5期科学技術基本計画(H28)において、Society5.0*が提唱されています。

そのほかにも、自治体 DX 推進計画(総務省) やデジタル庁の発足など、各省庁においても自治体による DX*推進のメッセージを発出している状況です。

こうした昨今の情勢をふまえて、当町においても、これまでの個別的な情報化施策を体系化し、町民の利便性向上、行政運営の効率化、地域課題の解決を目指すため、総合的な情報化推進計画を新たに策定することといたしました。

当町は、誰一人取り残さない、人に優しいデジタル社会の実現を目指し、町民とともに歩む情報化の未来を築くことで、「平取(みんな)の夢を未来(あした)につなぐ」町の実現を目指します。

Society 5.0で実現する社会



外部動向

- デジタルガバメント・実行計画
- 自治体DX推進計画 等

- ・ 地方公共団体における情報セキュリティポリシーに関するガイドライン
- ・ 個人情報保護制度の見直し 等

- ・ クラウド・バイ・デフォルト原則
- ・ 自治体の「三層対策」の見直し

- ・ 自治体の情報システムの標準化・共通化
- ・ デジタル庁の発足 等

1-2 計画の位置づけと目標

本計画は、「第 6 次平取町総合計画」および「第 2 期まち・ひと・しごと創生総合戦略」を上位計画とし、平取町における情報化の方向性を定めるものです。また、官民データ活用推進基本法第 9 条に基づき、平取町の官民データ活用推進計画として位置づけ、国の「自治体 DX 推進計画」や「デジタル田園都市国家構想*」等の政策とも整合を図ります。

本計画では、情報化を推進すること自体を目的とするのではなく、町が掲げる将来像「自然と共生し、安心して暮らせるまち」の実現に向けて、総合計画に定められた基本目標（「暮らし・環境」「健康・福祉」「教育・文化」「産業・観光」「協働・行政」など）を支援・加速するための手段として、情報通信技術（ICT）を活用します。

1-3 計画の期間

計画期間：令和7年度～令和11年度(5年間)

本計画の計画期間は、令和 11 年度までとし、町の将来像の実現に向けた情報化施策を総合的かつ計画的に推進します。

また、令和 8 年度に実施される「第 7 次平取町総合計画」の策定に合わせて、本計画についても令和 8 年度以降適宜見直しを行い、必要な修正を加えるものとします。

なお、情報通信技術の進展は非常に速く、社会環境や国の政策動向も日々変化していることから、各施策の進捗状況や ICT の技術革新、国の計画・制度改正等を踏まえ、必要に応じて柔軟に検証・見直しを行うこととします。

第2章 取り組み方針と DX 施策

2-1 取り組み方針

本計画では、以下の視点を重視しながら、町の将来像と整合を図りつつ、持続可能で住民に寄り添った情報化施策を展開することを目指します。

- 町民の生活利便性の向上

オンライン手続き*やデジタルサービス*の充実により、誰もが安心して暮らせる環境を整備します。

- 行政運営の効率化・高度化

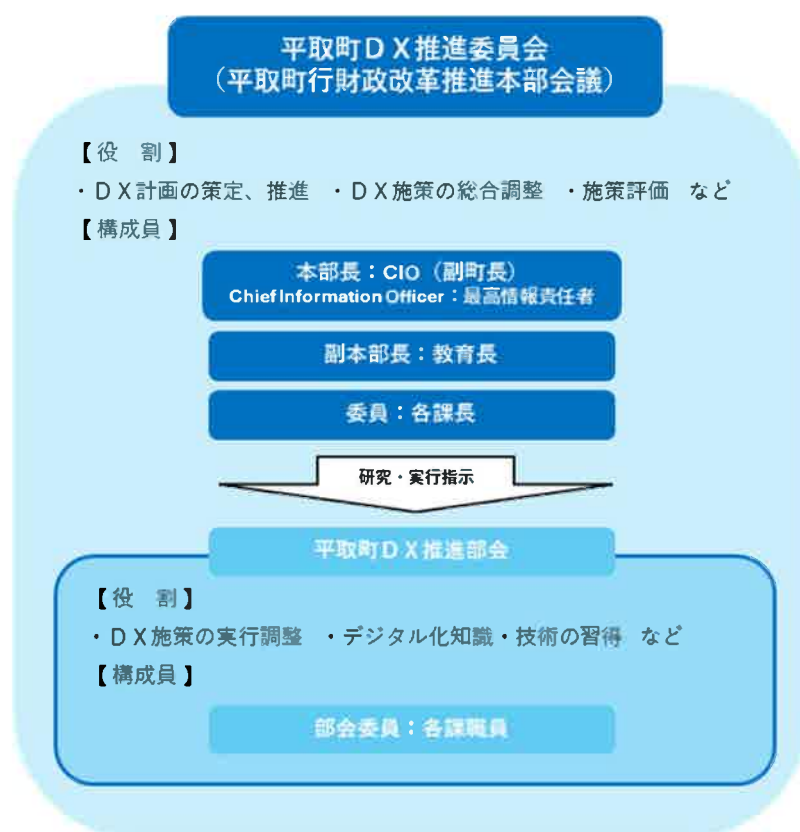
業務の標準化・共通化、各種システムの活用等により、持続可能な行政を実現します。

- 地域課題の解決と地方創生の推進

デジタル技術を活用し、人口減少や高齢化、産業振興などの地域課題に対応します。

本計画を全庁的に計画的かつ効率的に推進するため、副町長を最高情報統括責任者(CIO)と定め、各課長により構成される「平取町DX推進委員会」にてCIOの指示のもと、分野や業務を越えた全庁的な連携体制により、相乗的な効果を発揮できる施策及び取組を実施します。

施策の実行段階においては、各課職員で構成する「平取町DX推進部会」によりDX施策の実行調整などを行います。



平取町DX推進体制

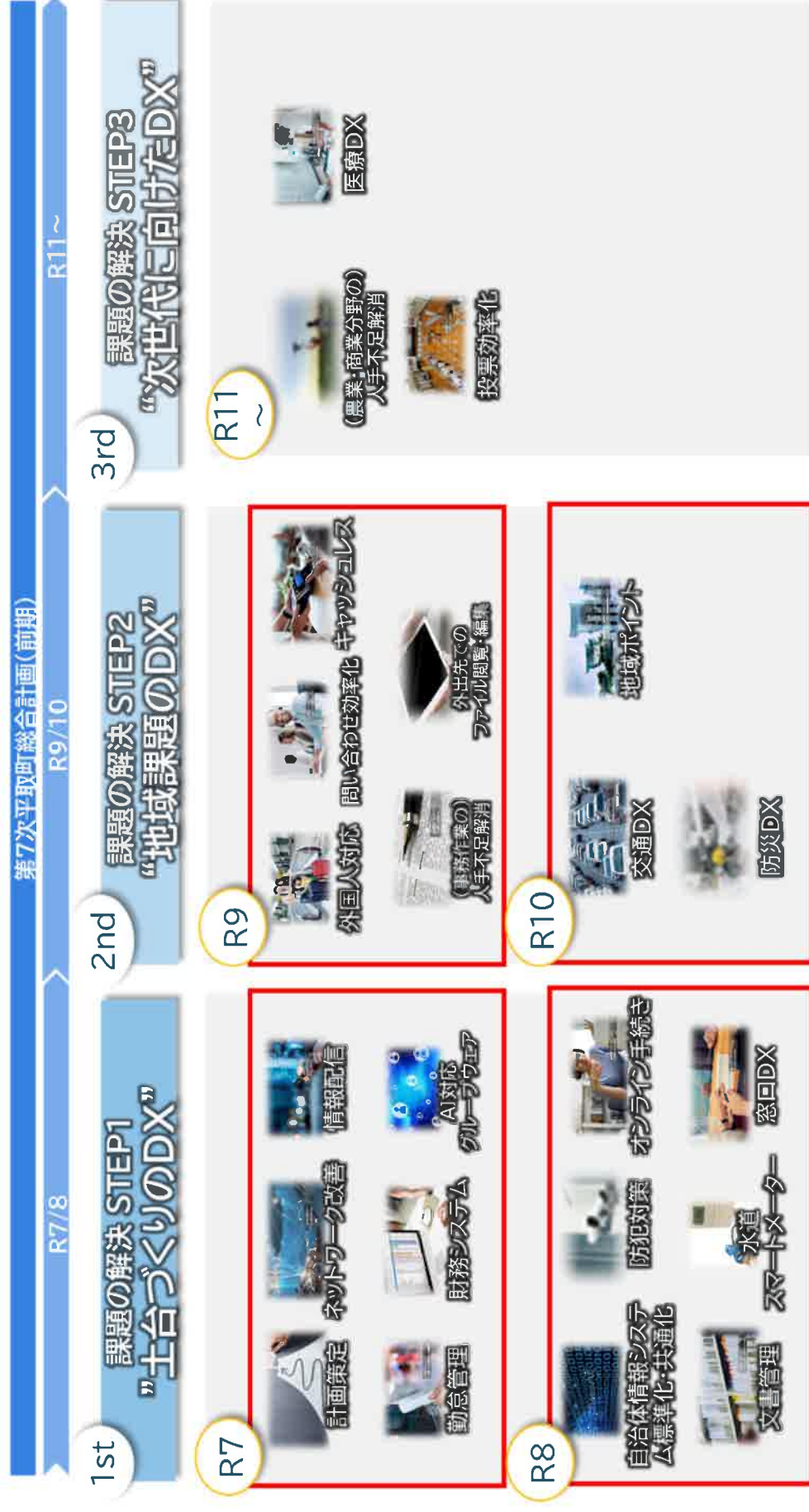
2-2 施策の実施

先述した計画策定の趣旨や取り組み方針に則り、以下の施策を実施します。

区分	施策分野	具体的な取り組み内容
町民の利便性向上	情報配信の多様化	LINE による情報配信システムの構築
	各種手続き・問い合わせの利便性向上	「書かない窓口」の導入
		各種行政手続きのオンライン化
		公共施設等におけるキャッシュレス決済の導入
		AI チャットボット・電話自動応答の活用
	町内経済の循環	地域ポイントのシステム化
	町民利用端末等の整備	学校教育用端末の整備
		図書館システムのバージョンアップ
行政運営の効率化	通信環境整備	庁舎・ふれあいセンターの NW 改善
	業務効率化・稼働削減	勤怠管理システムの導入
		財務会計システムの導入
		自治体情報システム標準化・共通化への対応
		AI 対応グループウェア*の導入
		RPA*・OCR*の導入
		文書管理システムの導入
		水道スマートメーターの導入
		外出先等遠隔でのファイル閲覧システムの導入
		開票業務等のシステム化による効率化
地域課題の解決	防災・防犯の充実	避難所管理・被災者再建支援システム等の導入
		クラウド型防犯カメラの設置
	地域交通の充実	デマンドバス等の OD データ*取得による最適化
	共生社会の実現	外国人観光客・移民への多言語対応システムの導入
	人手不足解消	農業用ドローン・無人販売システム等の導入
		遠隔医療の実装

2-3 参考資料

平取町情報化推進計画(ビジュアルイメージ)



スケジュール案

■凡例: :要件・業務整理・予算化検討、運用検討 :導入・展開

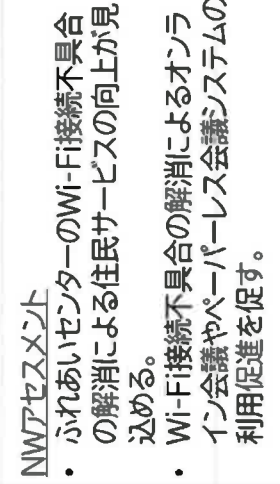
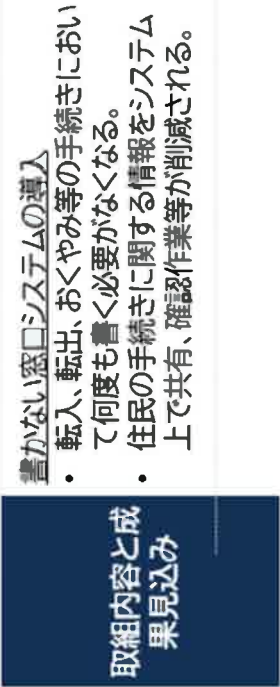


STEP 1

■凡例: :要件・業務整理・予算化検討、運用検討 :導入・展開

課題		第7次平取町総合計画				
参考ソリューション		R7	R8	R9	R10	R11
STEP 2						
外国人対応	対話支援システム					
問い合わせ効率化	AIチャットボット等					
多様な納付方法	キャッシュレス コンビニ支払い等					
(事務手続きの) 人手不足	RPA・OCR					
交通DX	デマンドシステム等					
外出先でのファイル 閲覧・編集	MS365 (SharePoint) 等					
防災DX	被災者再建支援システム等					
地域ポイント	TicketQR等					
STEP 3						
(農業・商業分野の) 人手不足解消	ドローン・スマートストア					
医療DX	遠隔医療支援システム					
投票効率化	投票所受付システム等					

・STEP1課題の取り組み実現イメージ(抜粋)

背景・課題	ワンストップ窓口による利便性の向上	NW改善	オンライン手続き
- 住民の署名を書く手間や文字の読みづらさや、紙の無駄が発生している。 - 申請に必要な書類や制度の説明などペタラン職員に依存した業務が多い。	書かない窓口システムの導入 - 転入、転出、おくやみ等の手続きにおいて何度も書く必要がなくなる。 - 住民の手続きに関する情報をシステム上で共有、確認作業等が削減される。	NWアクセスメント - ふれあいセンターのWi-Fi接続不具合の解消による住民サービスの向上が見込める。 - Wi-Fi接続不具合の解消によるオンライン会議やペーパーレス会議システムの利用促進を促す。	オンラインサービスの活用 - 役場の開庁日、開庁時間によらずいつでも住民手続き・申請が可能となる。 - 窓口対応にかけける稼働を減らすことができる。 - 窓口で現金を扱う必要がなくなる。
課題解決ソリューションイメージ			- びったりサービス - コンビニ証明書等交付 - アプリ型行政オンライン申請サービス 

AI対応グループウェアの導入

- ・現在使っているグループウェア(サイボウズ10)が今後新規購入不可、2026年度サポート終了予定。
- ・職員の中には自前でダウンロードし、Outlookを使っている人もいる。

MS365への移行

- ・スケジュール管理、メール、メッセージの配信、オンライン会議等を1つのグループウェアで完結できる。
- ・SharePoint、PowerAppsや生成AIによる議事録作成による業務の効率化、職員の負担軽減が見込める。



課題解決
ソリューション
イメージ

防犯対策

- ・町内で窃盗事件が複数件発生しており、防犯対策が急務。
- ・防犯対策を実施していることを内外に周知することによる犯罪抑止の効果も狙うため、目で見えて分かりやすい対策を検討したい。

防犯カメラの設置

- ・24時間365日での監視をカメラにて実施し、人的リソースを節約。
- ・どこにいてもリアルタイムで映像を確認可能。
- ・防犯対策を行っていることが一目でわかりやすく、抑止力となることも期待できる。

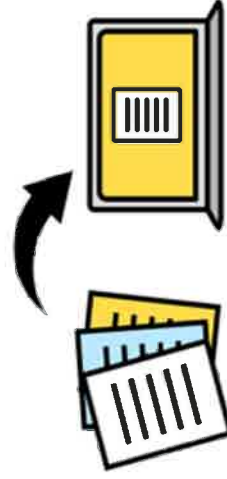


文書管理・ペーパーレス化

- ・会議の準備・開催時において紙を使わなくても不都合のない仕組みを構築したい。
- ・紙媒体での郵送コストを抑えたい。
- ・紙媒体のみの資料の紛失等のリスク低減のため、電子化したものを保管したい。
- ・書庫に書類が入りきらない状況の発生。
- ・情報開示請求に対し、迅速なまたは不備により対応ができないケースの発生。

文書管理システムの導入

- ・紙や印刷にかかる費用を削減できる。
- ・資料の準備や配布、修正が迅速に行えるため、業務効率化につながる。内容の差し替えも簡易的に実施可能。
- ・紙媒体の劣化等による消失リスクを低減することが可能。
- ・書庫整備にかかるコストが抑えられる。
- ・情報公開請求に迅速に又は適切に対応できる。



・STEP2 課題の取り組みイメージ(抜粋)

背景・課題	外国人対応	事務における人手不足	キャッシュレス決済
取組内容と成果見込み	自動通訳機能付き窓口ツールの導入 - リアルタイムでやり取りの翻訳ができる窓口ツールにより、外国の方との円滑なコミュニケーションを可能にする。 - 外国の方以外にも、高齢者や聴覚障がい者など、音声聞き取り取ることが困難な方にも活用可能。	RPA・OCRの導入 - 入力作業等の定型的な作業を機械に置き換えることで、業務効率化・省力化につながる。 - 時間外労働における人件費の削減につながる。	マルチ決済デバイスの導入 - 現金を持ち歩かずに支払いが可能。 - 現金の取り扱いや管理にかかる時間や手間の削減。傾向の分析等も可能。 - 現金の盗難や紛失、偽造などのリスクを低減。
課題解決ソリューションイメージ			 クレジットカード・電子マネー・QRコード等に対応

防災関連DX

地域ポイント

交通弱者に向けた交通サービス提供

背景・課題

- デジタルを最大限活用した防災訓練や啓発活動、発災時の的確なルート伝達等が行えていない。
- 発災後の住民対応が効率的に行えない可能性がある。

- 町内で発行している地域券の発行作業が煩雑。
- 近隣自治体のスーパー等に買い物に行く住民が多く、地域内での経済循環が十分に行えていない。

取組内容と成果見込み

被災者再建支援システム等の導入

- 平時の訓練から発災後の住民対応までシステム内で一気通貫で実施可能。
- 近隣自治体をはじめ、全国の自治体との連携強化により防災力の向上が見込める。

地域通貨アプリの利用

- 地域券のデジタル化により、発行・受け取りの手間を削減可能。
- 交通機関など様々な用途への拡張により、便利で使い勝手の良い地域ポイントを実現。

クラウド型デマンド交通システム等の導入

- 予約業務等の効率化と迅速化が可能になるとともに、利用者の予約時間制限を縮小し、利用者ニーズに応えることが可能。
- クラウドサービスを活用することで、データ収集や分析も効率的に実施。



課題解決ソリューションイメージ



デマンド交通利用時のスマートフォンと提供設備



車載ナビイメージ

外出先でのファイルの閲覧・編集

- ・ 外出時に地図データ等を紙のファイルで持ち出しており、かなりの手間がかかっている。
- ・ 印刷等にコストがかかっており、コスト削減をしたい。

SharePoint等ファイル共有システムの導入

- ・ 外出時にもタブレット等でファイルの閲覧・編集が可能。
- ・ 印刷の必要がなくなり、手間やコストを削減できる。



用語解説

(五十音順、アルファベット順)

【あ行】

●イノベーション

新しい価値を創造すること。

●オンライン手続き

住民がインターネットを通じて行政手続きを行える仕組み。

【か行】

●ガイドライン

運用や対応のための指針や基準。

●ガバメントクラウド

政府が提供するクラウド型情報システム基盤。

●クラウド

インターネット経由で提供されるデータ保存やサービスの仕組み。

●クラウドサービス

クラウド上で提供されるアプリケーションや機能。

●グループウェア

組織内の情報共有や業務効率化を支援するソフトウェア。

【さ行】

●三層対策

自治体情報システムのセキュリティ強化策。

【た行】

●チャットボット

テキストや音声で自動会話を行うプログラム。

●デジタルサービス

オンラインで提供される行政や民間のサービス全般。

●デジタルガバメント

行政のデジタル化による効率化とサービス向上の取り組み。

●デジタル田園都市国家構想

地方のデジタル化を通じた活性化を目指す国の政策。

●デフォルト原則

クラウド利用を原則とする政府の方針。

【は行】

●ポリシー

運用方針や基本的な考え方。

【アルファベット・数字】

●AI

人工知能。人間のように学習・判断する技術。

●DX

デジタルトランスフォーメーション。業務や社会の変革を目指す取り組み。

●ICT

情報通信技術。IT と通信技術の融合。

●IoT 機器

インターネットに接続されたセンサーやデバイスで情報収集や制御を行う機器。

●OCR

画像から文字を読み取る技術。

●OD データ

交通の出発地と目的地に関するデータ。

●RPA

定型業務を自動化するソフトウェアロボット。

●Society5.0

AI や IoT を活用した未来社会の構想。